



看護局より

2011/11月号 NO.55



看護局長 柳谷 良子



秋、到来！AMGも変わります。

本日、中村秀夫会長より川村人事本部長へ総局長の辞令が渡されました。10年以上総局長として支えてくださった宮坂総局長からのバトンタッチです。AMGは今年で創設48年を迎え、50年に向かって邁進しています。この勢いを止めることなくドンドン進みます。看護局もこの波に遅れることなく乗らなければなりません。

私達のやるべきことは何でしょうか。第一に目の前にいらっしゃる患者さま、利用者さまに的確な看護・介護を提供することです。本当に提供できているでしょうか？第二に皆さんが看護・介護を通してやりがいや達成感を持てることです。獲得できておられるでしょうか？

このような事を実現することにそれぞれの役割をしっかりと行って、ご尽力賜りたいと思います。共にAMGの大きな波に乗っていきましょう。



老健担当参与 真中 幸子

旧暦10月は神無月(出雲では神有月)と呼ばれ全国の神様が会議をする為に出雲に集まる為日本中から神様が居なくなってしまう月！暑さもすっかり遠のいてしまいました。

茶の湯では名残とよばれ、昨年の初冬に使い始めた茶壺の茶も残り少なくなり茶の名残を惜しみつつ、秋の深まりで冷え込む茶室の風炉の火を客に近づけ茶をもてなす時節です。

10月末都内に在る介護福祉士学校の就職説明会に看護局田口さん(今年新入職です)・リハビリケアかつしか準備室介護主任・あっとほ一む習志野準備(室)介護福祉士と3名で参加！

人との出会いの大切さ、キャリアパスの重要性を学べた一日を経験しました！介護職の皆さんも是非募集活動に参加し、人材育成計画の重要性を学んで頂ければと思います。

《私の学び》

～在宅復帰支援機能加算～

「入所者の家族との連絡調整」とは

* 退所後の居宅サービス、医療サービス、福祉サービスについて相談支援

・食事、入浴、健康管理等在宅における生活に関する相談援助

・退所者の運動機能、日常生活動作能力の維持及び向上を目的とした相談援助

・退所者への介助方法に関する相談援助

* 入所者の同意を得て市町村等、居宅サービスに必要な情報提供



第47回AMG大運動会

開催日:平成23年10月16日(日)

場 所:平方スポーツ広場(上尾市)

参加者:4,505名

総力結集 ～心をひとつに！力をひとつに！～

運動会当日の朝方まで雨が降り続き、開催が危ぶまれましたが、雨も止みグラウンドのコンディションが悪い中、開催されました。選手達が足元を泥まみれになりながらも一生懸命に競技する姿に感動しました。午後には日差しが照りつける暑さになり、病院対抗リレーでは大盛り上がりとなりました。どの病院・施設も一丸となり感動の一日となりました。





吉川中央総合病院

長谷川友美(看護師・内科病棟)

出身校: 上尾中央看護専門学校(埼玉県)23年卒

入職し早7ヶ月が経ち、漸く一人で考え動けるようになりました。仕事を覚え出来るが増えて嬉しい反面、責任の重大さや命に関わる仕事だということを改めて感じ、自分の知識や技術の未熟さを痛感しています。ですが、良き先輩看護師の方々の指導のもと、様々なことを吸収しながら愉しく働いています。これからも学ぶ姿勢を忘れず、患者様の気持ちに寄り添う温かい看護師を目指し頑張っていきたいと思えます。

(写真: 上段右から2番目)

▼長谷川さん



安達 友花(看護師・手術室)

出身校: 千葉県立衛生短期大学(千葉県)23年卒

配属されたばかりの頃は、周りの先輩方のように動けるようになるのかとても不安でした。しかし、自分のできることが徐々に増えていくことを実感し、それに伴い仕事に対する興味も増していきました。今では、新しく勉強する事がとても楽しいです。

まだできないこともたくさんありますが、自分らしく働いていけるように、努力と心配りと笑顔を忘れずに過ごしていきたいです。

(写真: 2列目右から2番目)

▼安達さん



ハートケア横浜

中嶋 賢美(介護福祉士・一般棟)

出身校: 聖ヶ丘教育福祉専門学校(神奈川県)23年卒

緊張で胸が一杯だった入職日から、あっという間に半年が経ちました。今の私があるのは、丁寧に一つ一つ、失敗も笑顔で教えて下さるプリセプターの方と、細やかな心遣いと暖かな眼差しで支えて下さるスタッフの方々のおかげです。そして何よりもご利用者様の笑顔に勇気づけられ、支えられてきました。その人らしく生きることへの支えとなれるよう努力し続けたいと思います。(写真: 右端)



▲中嶋さん



《認知症の理解(10/6) 参加者:31名》

認知症看護認定看護師を講師として招いての研修でした。具体的に、症状に対するケア方法を沢山の事例と共に講義していただき、受講生の皆さんは、すぐにでも自施設で活用したいという声がたくさんありました。ぜひ、フィードバックして、これからのケアに活かしてほしいと思います。

《災害看護(10/7) 参加者:21名》

3月の東日本大震災を経験し、『災害看護』を身近に感じながらの研修でした。講師が、実際にボランティアであった出来事を含めながらの講義で、受講生の皆さんもとても真剣に、写真を見入りながら受講していました。グループワークでは、トリアージをしたり、災害発生時のシミュレーションをしたりと、すぐにでも活用できる内容でした。

《新任部長・副部長6か月後研修(10/26) 参加者:11名》

看護部長・副看護部長に就任され、6か月が経過し、それぞれの活躍を聞き、振り返りができた研修でした。柳谷局長・工藤部長の講義からもさらに得るものがあり、「今後への課題が明確になった」等の声がありました。これからも頑張っ、AMG看護部を盛り立ててください。

《フィジカルアセスメント～呼吸器～(10/27) 参加者:32名》

今年度、フィジカルアセスメント研修が3科目あるうちの1つ目の『呼吸器』が、32名参加で行われました。呼吸器系の解剖生理から始まり、血液ガスについて、レントゲンの読影、人工呼吸器装着患者の看護、そして、呼吸器系のフィジカルアセスメント・事例展開と、盛り沢山の研修内容でした。受講生もとても真剣に受講し、「復習・再確認が出来た」「明日から使える」などの声が聞かれました。ぜひ、各施設でフィードバックし、活用していただきたいです。

《教育担当者研修(10/5) 参加者:34名》

3回シリーズの最終回でした。自己分析方法である『エゴグラムテスト』を実施してみて、「自己を振り返ることができ、今後へ活用していきたい」という声が多くありました。また、教育担当者として、年間計画を立案し、実施・評価・修正していく事の大変さを感じながらも、来年度への意欲が感じられる内容でした。

《介護研究～実践編～6回目(10/11) 参加者:21名》

全6回シリーズ最終回の研究発表会でした。受講生は、AMG老健学会・AMG看護学会での発表を控えており、今回の研修の中での質疑応答内容や柳谷局長をはじめとした聴講者の方々からのアドバイス等をしっかりと聞いていました。各学会での発表へ向けて、修正・練習をして本番を頑張っていただければと思います。



《施設で取り組む感染予防(10/13) 参加者:44名》

感染予防は、「1処置1手洗い」とは解っていても、現場では出来ていない…という声がありました。しかし、今回の研修を受講して、「手洗いが感染予防に繋がる」ことを再確認し、自施設での取り組みに活かしていきたいという声に変わりました。これからの季節、感染予防はさらに必要となりますので、各施設で、ぜひフィードバックして活用してほしいと思います。

《主任初任者研修(10/18) 参加者:3名》

参加者3名という少人数での研修でした。講師と受講生との、ほぼマンツーマンでの研修だった為、午後はグループワークではなく、質疑応答という形になりましたが、現場での実際の悩み等が解決でき、実用的だったようです。中途入職者へのオリエンテーションマニュアルも作成できました。参加施設だけでなく、グループ内の施設での活用を期待したいです。

《看取り介護(10/19) 参加者:29名》

施設からの参加が多く、現場ではまだ「看取り」を行っていないが、今後は…という気持ちでの参加が多かったです。実際に施設での「看取り」となると、ハード面での対応が厳しい中、利用者・利用者家族の為に「最後まで見てあげたい」という気持ちが、とても伝わりました。これからも、利用者・利用者家族の為に精一杯の介護を提供してほしいと思います。

《高齢者虐待防止(10/28) 参加者:37名》

40名弱の参加での研修でした。午後のグループワークでは、2つの事例をもと展開をする内容でしたが、みなさん午前中の講義内容をしっかりと受け入れた展開ができていました。「普段何気なく使っている言葉や行動が、虐待に繋がるグレーゾーンだった」という、気づきもあったようです。各施設でも話し合い、不適切なケアを減らしていけると良いと思います。



《看護・介護研究に使える統計の基礎(10/12) 参加者:25名》

急遽行った研修でしたが、25名の参加がありました。普段現場ではほとんど接することのない『統計学』のため、言葉(用語)から理解できていない受講生がほとんどの中、「難しいが少し理解できた」「回数を分けて、もっと聞きたい」という声が沢山ありました。今後の研修計画立案の参考にさせていただきますので、ご期待ください。

《基本動作の介助方法(10/26) 参加者:38名》

リハビリ部の前園部長が講師として、看護師・介護士38名に、ボディーメカニックスの基本から実演・演習を交えて行われました。解っていたつもりだが、「今までとは違う、介助される側も介助する側も楽な方法を知れた」「基本動作の流れが武道みたい」「腰痛持ちの同僚の為に…」など、新たな発見があったようです。また、研修最後には、「裏ワザ」も実演してくださり、受講生はすぐにでも活用したい内容だらけだったようです。

研修のご案内

【研修申し込み期間:11月1日(火)～8日(火)】

研修の申込みは看護局ホームページからお申込みください。

※安全推進者研修は平成24年1月11日(水)に変更になりました。

安全推進者研修の研修申込みは12月1日からになりますので、よろしくお願い致します。

	研修名	日にち	時間	会場
看護職	主任研修	12月1日(木)	9:30～16:30(9:00受付)	AMG学習館(2階研修室)
	係長・科長研修(部署チーフ・主任を含む)	12月15日(木)	9:30～16:30(9:00受付)	AMG学習館(2階研修室)
	リハビリ看護	12月16日(金)	9:30～16:30(9:00受付)	AMG学習館(3階研修室)
	フィジカルアセスメント～循環器～	12月22日(木)	9:30～16:30(9:00受付)	AMG学習館(3階研修室)
介護職	第三者評価研修	12月6日(火)	9:30～16:30(9:00受付)	AMG学習館(3階研修室)
	安全推進者研修	12/9→H24.1/11	9:30～16:30(9:00受付)	AMG学習館(3階研修室)

詳しい研修内容は23年度教育計画をご覧ください。

『全日病学会に参加して』



10月29日・30日と全日本病院学会が沖縄コンベンションセンターで行われました。沖縄はスカイブルーの海と青い空、室温28度と真夏並みの暑さでしたが、湿度が低いため快適でした。上尾中央医科グループからは約80人が参加しました。演題は薬剤・臨床検査・放射線・リハビリ部・事務部など31題の発表がありました。看護局からは今年度も「看護部長のリーダーシップとマネジメントに期待して」をテーマに柳谷看護局長が、「リハビリ部との協同によるセラピストの喀痰吸引における看護局の取り組みと課題」をテーマに貝瀬が発表しました。人気の会場は立ち見もあり、とても勉強になる学会でした。来年の学会開催地は神奈川県です。是非神奈川地区の看護部長・介護部長の皆様のエントリーをお願いします。そしてAMG一丸となり盛り上げていきましょう。



『AMG奨学生説明会』

去る10月8日(土)AMG奨学生を対象とした26病院の病院説明会が上尾中央看護専門学校の講堂で行われました。学生は日本保健医療大学の1・2年生、上尾中央看護専門学校第一学科2年生・第二学科1年生の合計144名が参加しました。説明会の前半は20分を1クールとし5クール行い、その後はフリーで約3時間の説明会でしたが、時間いっぱい説明を聞きに回った学生や、全施設のパンフレットをもらって帰った学生など、とても真剣に参加していました。今年度の人気は千葉地区でした。今後病院訪問をして自分に合った病院を決めていくこととなります。

